

会場を演奏しながら練り歩く会員



東日本被災地への思いを込めて

◎愛治ちんどんチャリティー演奏会

東北地方太平洋沖地震の被災地に対する支援を目的とした「愛治ちんどんチャリティー演奏会」は4月24日、愛治小体育館で行われました。

午後1時から行われたこの演奏会は、「富母里神楽」による演舞や、「北宇和高校ブラスバンド部」「愛治ちんどんクラブ」による演奏などがあり、来場者を楽せました。

当イベントは、愛治ちんどんクラブ（会長・久保田正敏）が主催。来場者らは、会場に設置された募金箱に次々と義援金を入っていました。

消防署員の話に耳を傾ける新入団員



安全安心の町づくりに新戦力

◎鬼北町消防団入団式

平成23年度鬼北町消防団入団式は4月17日、広見体育センターで行われ、23人が町民の安全安心を守る一員として消防団に入団しました。

式では、甲岡町長から激励のあいさつのあと、新入団員を代表して兵頭定敏さん「奈良」が「誠実に消防の義務を遂行する」と宣誓しました。

式終了後は、奈良川河川敷で消防署員指導の下、基本的な礼式訓練や、可搬ポンプの取り扱い方法などの指導がありました。

表彰を受けた水本さん



35年間の磨かれた技能に表彰

◎愛媛県政発足記念日知事表彰

「愛媛県政発足記念日知事表彰」は2月20日、愛媛県庁で行われ、町内で鮮魚店を営む水本行男さん「近永」が表彰されました。

水本さんは、73歳になった現在も食品の加工販売を行っており、この表彰を受けて「今後ともっと頑張りたい」と意気込みを話しました。

この表彰は、優れた技能で宇和島かまぼこの保存伝承に尽力したことに対し贈られたものです。

会に出席した各地区代表者



自分たちの地域は自分たちで守る

◎自主防災組織等連絡協議会総会

地元住民らで組織する自主防災組織の総会が4月26日、防災センターで行われ、消防、警察、行政、各自主防災組織の代表者ら57人が出席しました。

当会では、事業、決算報告などが行われた後、鬼北消防署山口署長から「自主防災について」と題した講話がありました。山口署長は、東北地方の被害の甚大さ、愛媛県も南海地震の危険にさらされていることなどを説明し、自主防災組織の役割の重要性を訴えていました。